

3月10日(水)

報告:星 吾朗

6時：起床

7時：朝食

8時45分：出発（大雨のためタクシーで）

9時30分：Dr.Matt（マシュー）と待ち合わせ。タクシーで往診へ。

10時45分：往診終了。バスで移動。こっちに来て初めてのバス。それも二階建てバス。

11時：Tampines というバスのターミナルのショッピングセンターで昼食。

12時30分：電車を乗り継いでSGH へと向かう。

13時：Case presentation （Sweet 病）

13時35分：終了。

18時：夕食へ出発

18時20分：夕食（川沿いの「JUMBO」という中華料理）

往診はまさかのタクシーで移動でした。マシュー先生と看護師さんと。私服なのでとても往診に行くような感じはせず、その上タクシーだからなおさらそのように感じました。往診先はチャンギ国際空港のそばの家でした。車で25分位。

<往診>

6か月以内？その後は private clinic など follow するようなことを言っていました。

医師が一度訪問診察すると1回180ドル、看護師が訪問すると67.5ドルかかるが、それぞれの家族の収入に応じ実際の負担額は変わってくるとのこと。それを誰が決めているかはよく分かりませんでした。今回訪問した家は65パーセントの負担でした。

現在SGHのfamily medicineでは130人の往診患者さんがいるとのことでした。日によって当日のように1件だけのこともあれば、3、4件行くこともあるとのこと。訪問頻度としては患者さんの状態によりけりなので2週間に1度の人もいれば、3カ月に1度の人もいるとのことでした。でも1カ月1度の人が多いかなあと言っていました。

今回訪問した家は2LDK？3LDK？部屋が3つ（いずれも5畳くらい）あってその他にキッチンがある感じ。テレビは2台ありメインのやつはpanasonic製。パソコンもあったしそれなりに裕福な家だったと思います。メイドさんもいましたし。そのメイドさんが吸引したりおっしことったり患者さんの身の回りのことをやるみたいです。赤ちゃんにミルクもあげていました。

おしっこはチンチンに直接ビニール袋が巻きつけられてテープでとめられていました。はじめて見ました。



夕食の時に同じ席だった人は、麻酔科の先生、小児科の先生、一般内科医 2 名
でした。シンガポールと日本の医療などについていろいろとディスカッション。

